

「二宮町総合戦略」に係る アンケート調査結果

令和2年7月

1. 調査概要

1) 調査目的

本アンケート調査は、本町の取り組みに対する町民の評価を把握する目的で実施するものである。

2) 調査方法

- 調査票は郵送により配布し、返信用封筒による郵送回収を行う。

3) 調査期間

- 令和2年4月30日（金）～令和2年5月31日（金）
※ 但し、本報告書では6月10日（水）到着分まで集計

4) 調査対象及び回収状況

- 対象者：1,000名
令和2年4月13日現在の住民基本台帳から、満18歳以上の男女各世代（10代・20代、30代、40代、50代、60代以上）より、年代ごとの人数を均等に1,000名を無作為抽出。
- 回収数：540票（54.0%）

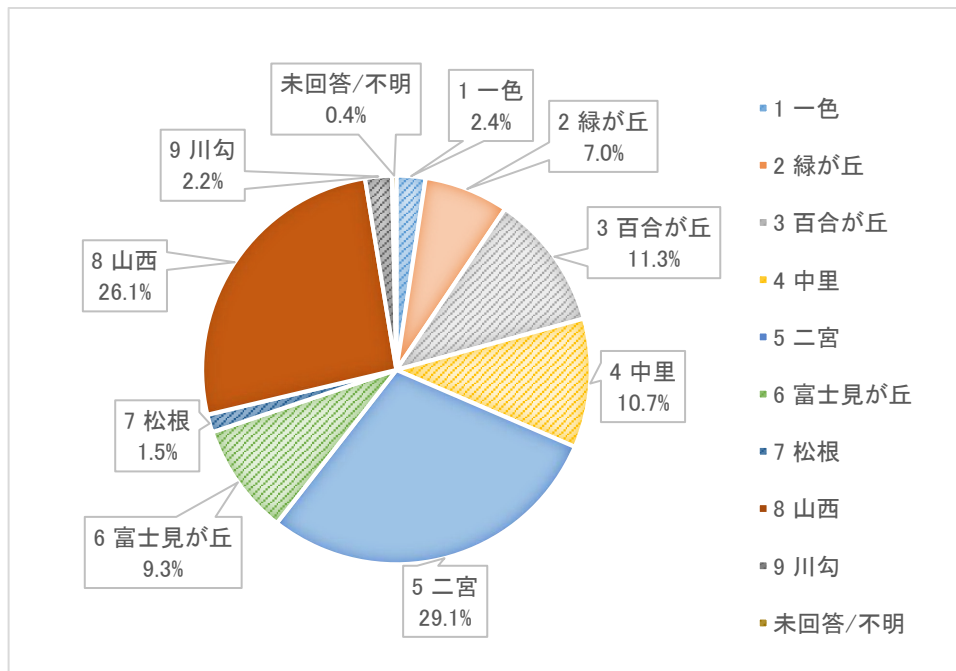
地 域	今回調査			令和元年5月実施 (以下、前回調査)		
	人 数	回収票	回収率	人 数	回収票	回収率
一 色	24名	13票	54.2%	29名	13票	44.8%
緑が丘	72名	38票	52.8%	90名	36票	40.0%
百合が丘	126名	61票	48.4%	123名	50票	40.7%
中 里	110名	58票	52.7%	109名	37票	33.9%
二 宮	282名	157票	55.7%	293名	136票	46.4%
富士見が丘	92名	50票	54.3%	90名	41票	45.6%
松 根	16名	8票	50.0%	12名	4票	33.3%
山 西	254名	141票	55.5%	233名	87票	37.3%
川 匂	24名	12票	50.0%	21名	8票	38.0%
未回答	-	2票	-	-	2票	-
合 計	1,000名	540票	54.0%	1,000名	414票	41.4%

- 調査票不到達数：3名（理由：宛名不明）
 <内訳> 10代 女性：1名（二宮）
 50代以上 男性：2名（二宮、中里）

2. 調査結果（概要）

問1 住所

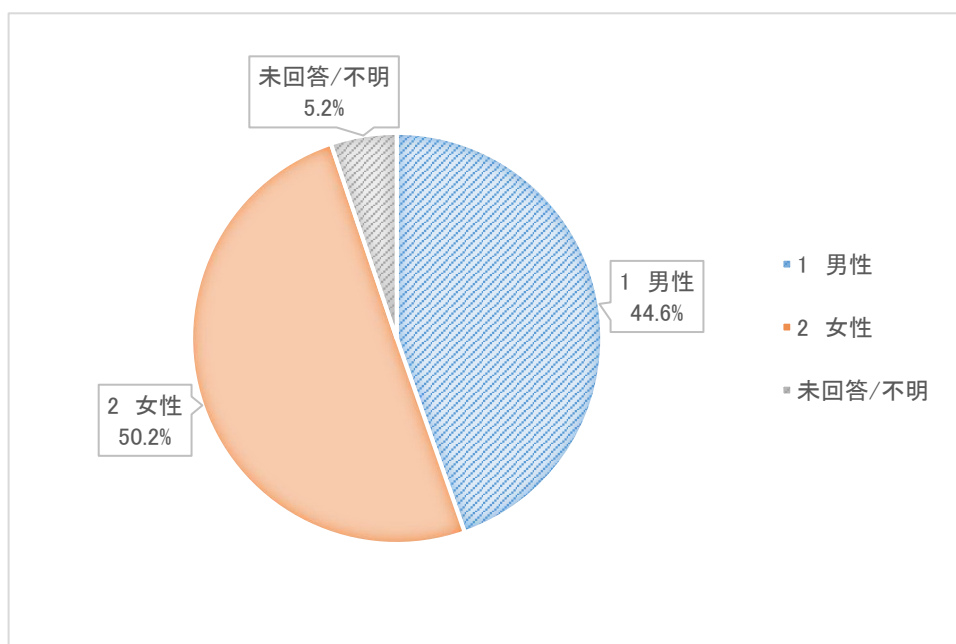
- 回答者の居住地は、調査対象者人数に比例し、二宮が最も多く29.1%、次いで山西の26.1%と続く。



n=540

問2 性別

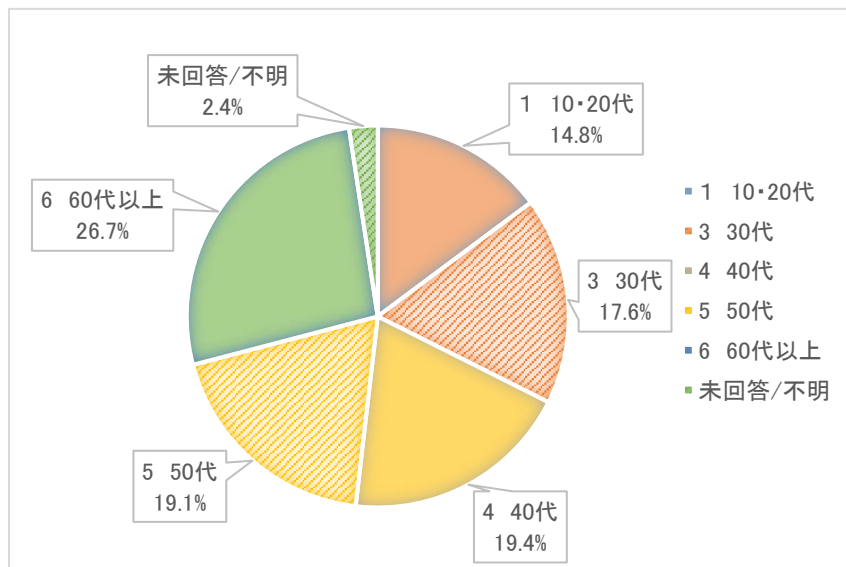
- 回答者の男女比は、女性が50.2%に対し、男性が44.6%であった。



n=540

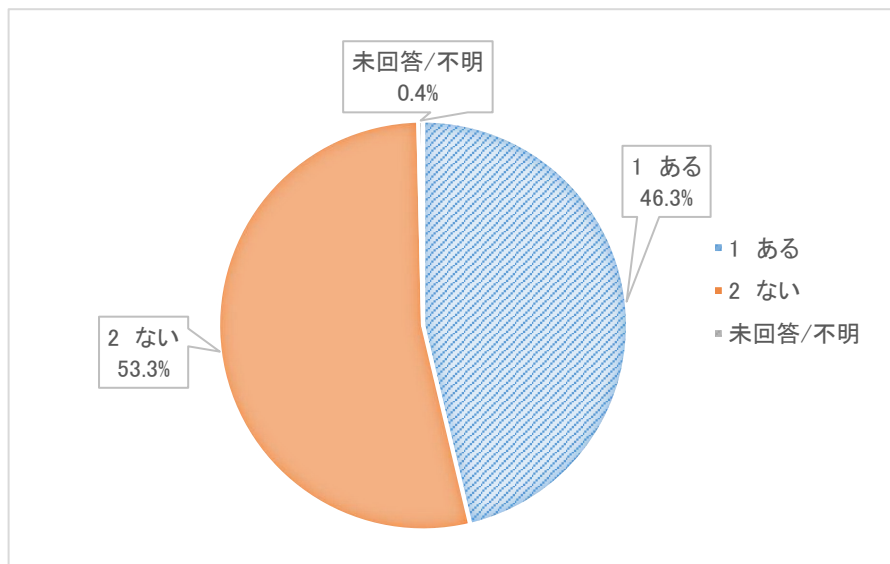
問3 年齢

- 60代以上が26.7%と最も多かったのに対し、10代と20代併せて14.8%となり最も少なかった。



問4 運動習慣について

- 運動習慣の有無について、運動習慣が「ある」と回答した者が46.3%であったのに対し、「ない」と回答した者が53.3%であった。



【参考】 前回結果との比較

回答	今回	前回	増減 (今回-前回)
運動習慣が「ある」	46.3%	43.0%	+3.3ポイント
運動習慣が「ない」	53.3%	56.3%	-3.0ポイント

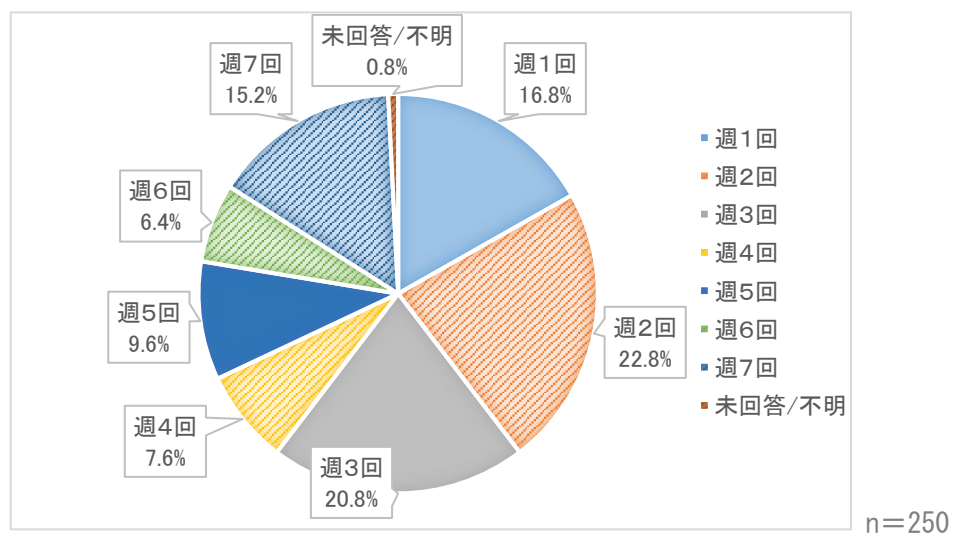
- 年代別に見ると、運動習慣が「ある」と回答した人の割合が最も高かったのは60代以上で、同年代の全回答者の52.8%を占めた。次いで50代が51.5%で続く。一方、運動習慣が「ない」と最も多く回答したのは、30代で60.0%、次いで40代が58.1%で続いた。

運動習慣 年代	今回			前回		
	「ある」	「ない」	未回答 不明	「ある」	「ない」	未回答 不明
10・20代	35 (43.7%)	45 (56.3%)	-	22 (37.3%)	37 (62.7%)	-
30代	38 (40.0%)	57 (60.0%)	-	20 (29.9%)	47 (70.1%)	-
40代	43 (41.0%)	61 (58.1%)	1 (0.9%)	26 (33.3%)	52 (66.7%)	-
50代	53 (51.5%)	50 (48.5%)	-	41 (46.1%)	48 (53.9%)	-
60代以上	76 (52.8%)	67 (46.5%)	1 (0.7%)	63 (57.8%)	46 (42.2%)	-
未回答 不明	5 (38.5%)	8 (61.5%)	-	6 (50.0%)	3 (25.0%)	3 (25.0%)
合 計	250 (46.3%)	288 (53.3%)	2 (0.4%)	178 (43.0%)	233 (56.3%)	3 (0.7%)

※ 各年代の数値の下にある（ ）内の割合は、年代ごとの全回答者に占める割合

※ 合計の数値の下にある（ ）内の割合は、全回答者に占める割合

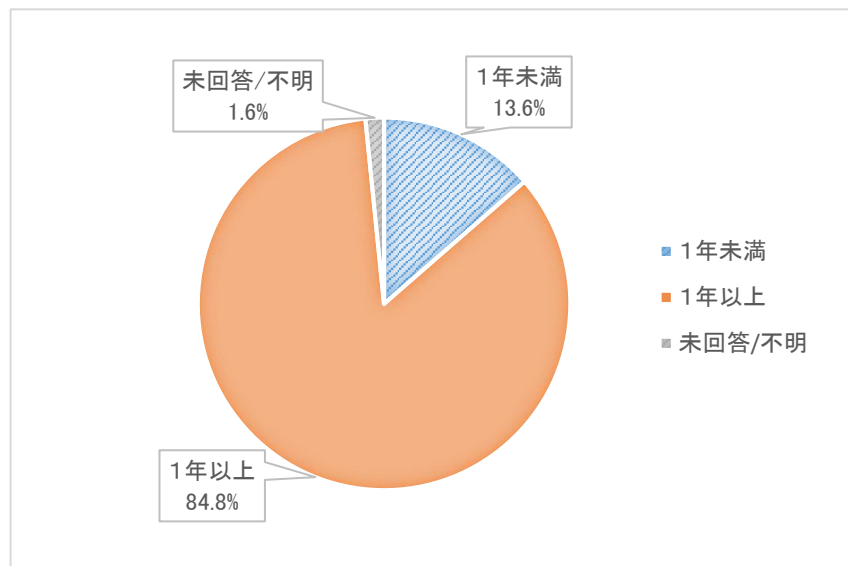
- 運動習慣が「ある」と回答した者の1週間の運動日数について、「週2日」が22.8%と最も多く、次いで「週3日」が20.8%であった。



- ・ 運動習慣が「ある」と回答した者の全体の平均運動時間は、1時間23分であった。

	今回	前回
週1回	1時間42分	1時間40分
週2回	1時間42分	1時間48分
週3回	1時間6分	1時間16分
週4回	1時間20分	1時間17分
週5回	0時間59分	1時間10分
週6回	1時間12分	0時間55分
週7回	1時間15分	0時間59分
全体平均	1時間23分	1時間25分

- ・ 運動習慣が「ある」と回答した者の運動継続年数は、「1年以上」が84.8%、「1年未満」が13.6%であった。



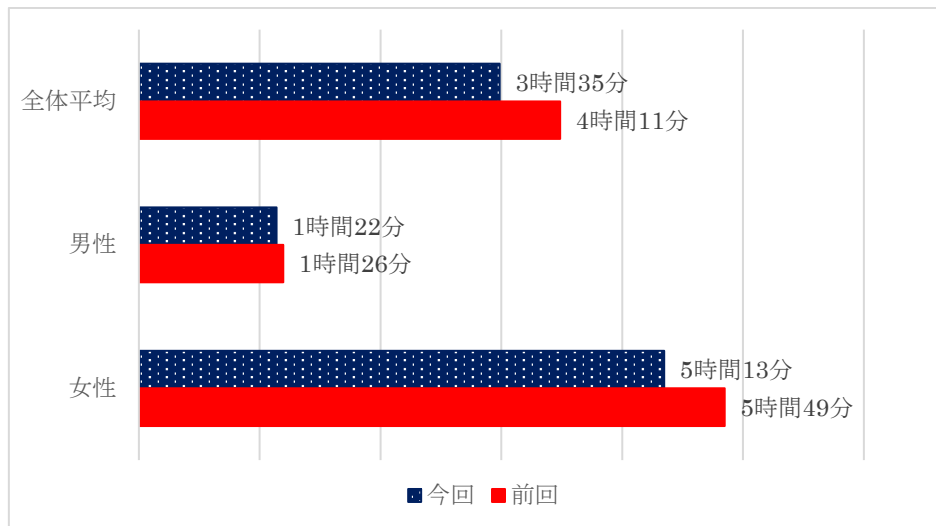
n=250

【参考】 前回結果との比較

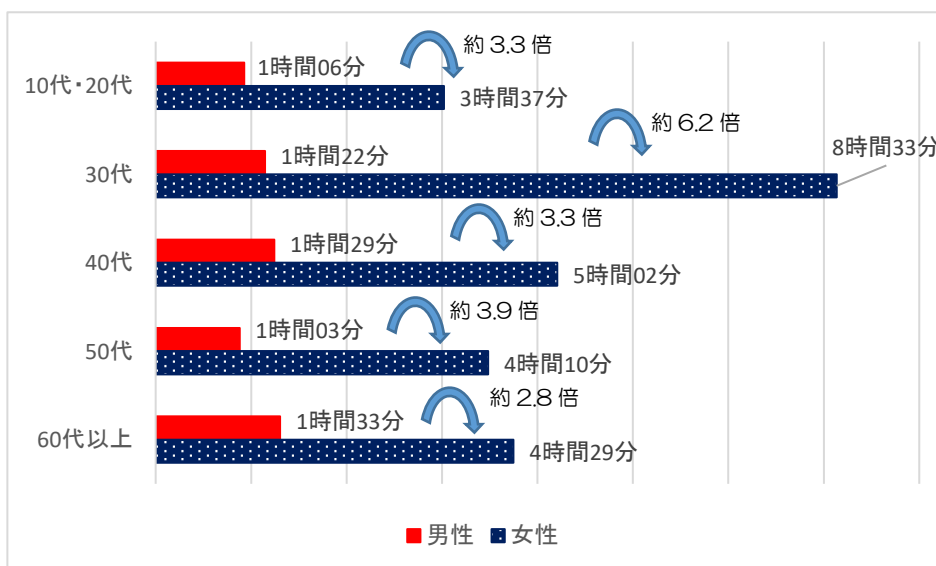
回 答	今回	前回	増減 (今回-前回)
1年未満	13.6%	16.3%	-2.7ポイント
1年以上	84.8%	82.6%	+2.2ポイント

問5 子育てと仕事の両立について

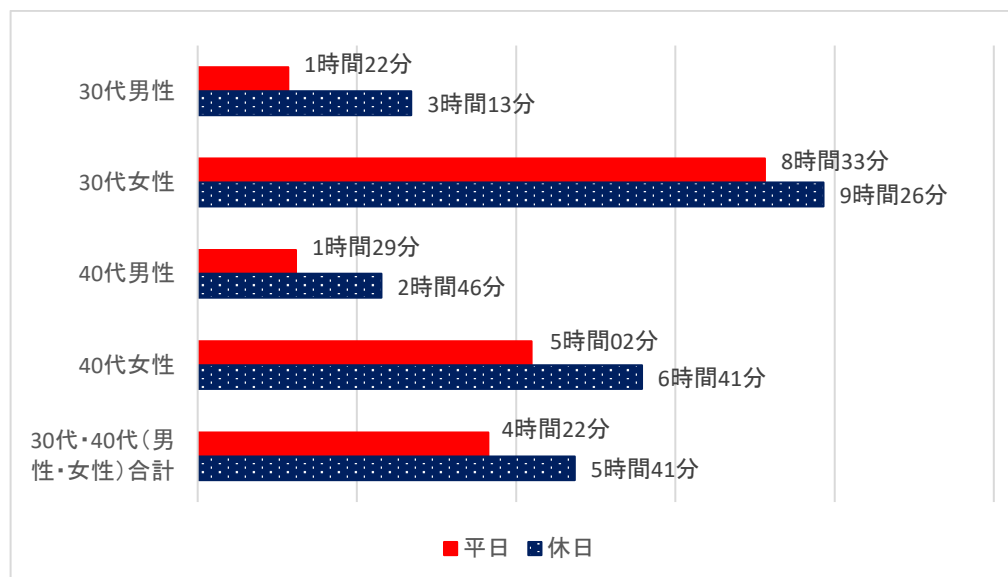
- 平日の1日のうち家事や育児にかかる時間の全体平均は、3時間35分であった（回答者の男女比は、男性が47.1%に対し、女性が52.9%）。
- 男女別に見ると、男性の平均時間が1時間22分、女性の平均時間が5時間13分であった。



- 年代別・男女別に見ると、30代女性が8時間33分と最も長く、次いで、40代女性の5時間02分と、子育て世代の女性が長いことが分かる。一方、最も時間が短いのは、10代・20代男性の1時間06分であった。
- すべての年代において、女性が男性に比べ、約2倍以上長いことが分かる。



- 子育て世代である30代及び40代を男女別及び平日・休日別に見ると、男女ともに平日に比べ、休日に家事や育児にかかる時間の平均が増加している。
- 特に、30代男性について、平日に比べ、休日の平均時間の増加率が、約2.3倍と大きく増加している。



問6 住環境に対する評価について

二宮町の住環境の満足度と重要度について項目ごとに5段階で評価し、その回答の加重平均を算出し、順位づけをした。加重平均を算出する際には、「満足（重要）」を2、「やや満足（やや重要）」を1、「どちらとも言えない」を0、「やや不満（あまり重要ではない）」を-1、「不満（重要ではない）」を-2とし、数字が大きくなるほど評価が高く、数字が小さくなるほど、評価が低いことを表している。

(1) 全体の傾向

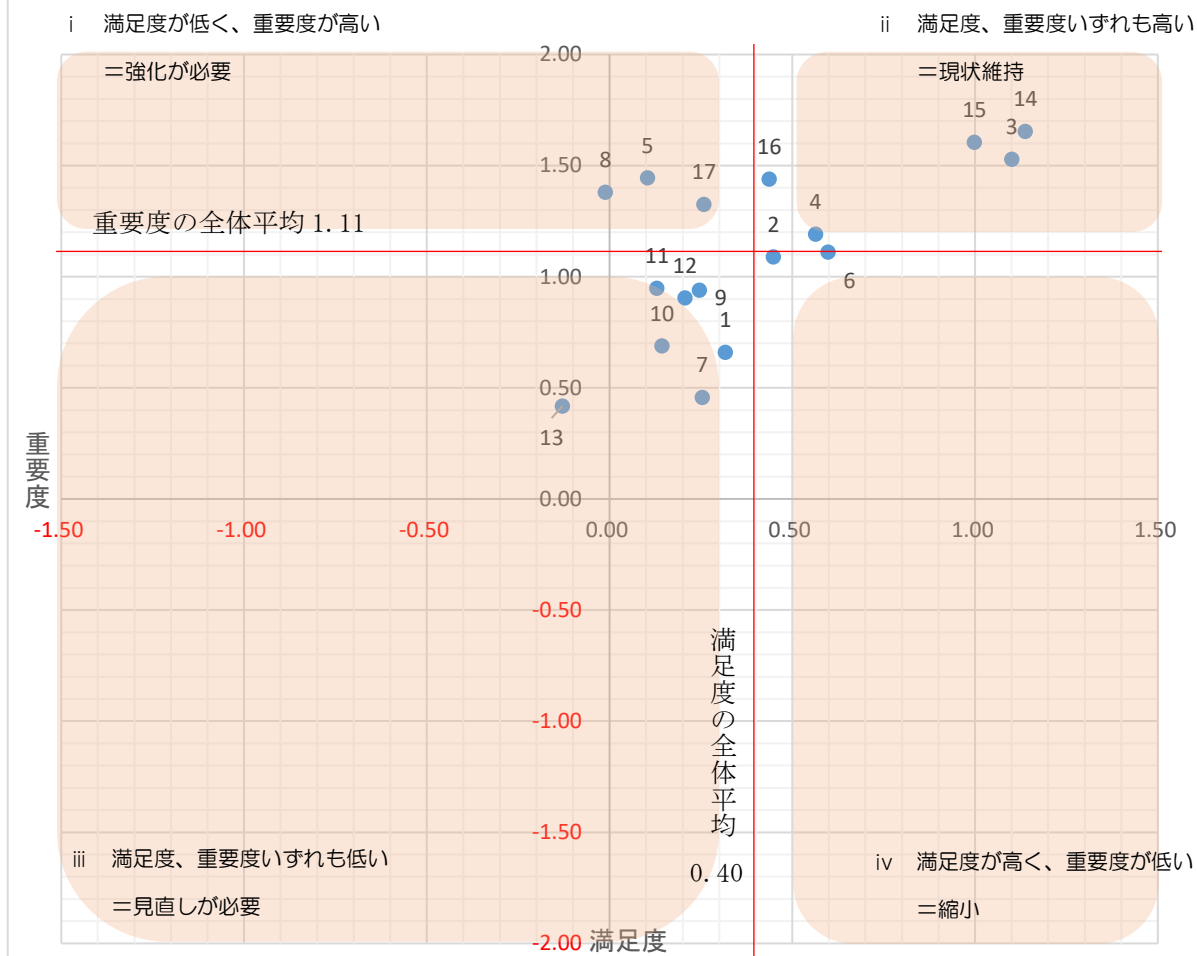
住環境の満足度の加重平均値は、0.40であった。項目ごとの満足度の加重平均値は-0.13~1.14の間で、加重平均値の中央にあたる0よりやや上回っている。一方、重要度の加重平均値は、1.11であった。項目ごとの重要度の加重平均値は0.42~1.65の加重平均の中央にあたる0より高い水準の範囲で分布している。加重平均値が0を下回る重要度が低い項目はなかった。

	満足度	重要度
平均	0.40	1.11
最大値	1.14	1.65
最小値	-0.13	0.42

【参考】 前回結果との比較

		今回	前回	増減 (今回-前回)
満足度	平均	0.40	0.30	+0.10
	最大値	1.14	0.95	+0.19
	最小値	-0.13	-0.19	+0.06
重要度	平均	1.11	1.10	+0.01
	最大値	1.65	1.62	+0.03
	最小値	0.42	0.34	+0.08

満足度と重要度の関係性



1 都心へのアクセス	2 最寄駅へのアクセス	3 住宅の条件
4 街並みや街の雰囲気	5 買い物の利便性	6 公園・自然環境
7 地域コミュニティ	8 医療・福祉	9 子育て環境
10 保育園の整備状況	11 小中校等の教育環境	12 公共施設
13 文化・芸術活動	14 治安のよさ	15 自然災害の少なさ
16 防災・減災まちづくり	17 道路や下水道等都市基盤	

i 満足度が低く、重要度が高い＝強化が必要

- ・ 買い物の利便性
- ・ 医療・福祉
- ・ 道路や下水道等都市基盤

ii 満足度、重要度いずれも高い＝現状維持

- ・ 住宅の条件（広さ、日当たり、静けさ）
- ・ 治安のよさ
- ・ 自然災害の少なさ

iii 満足度、重要度いずれも低い＝見直しが必要

- ・ 地域コミュニティ
- ・ 保育園の整備状況
- ・ 文化・芸術活動

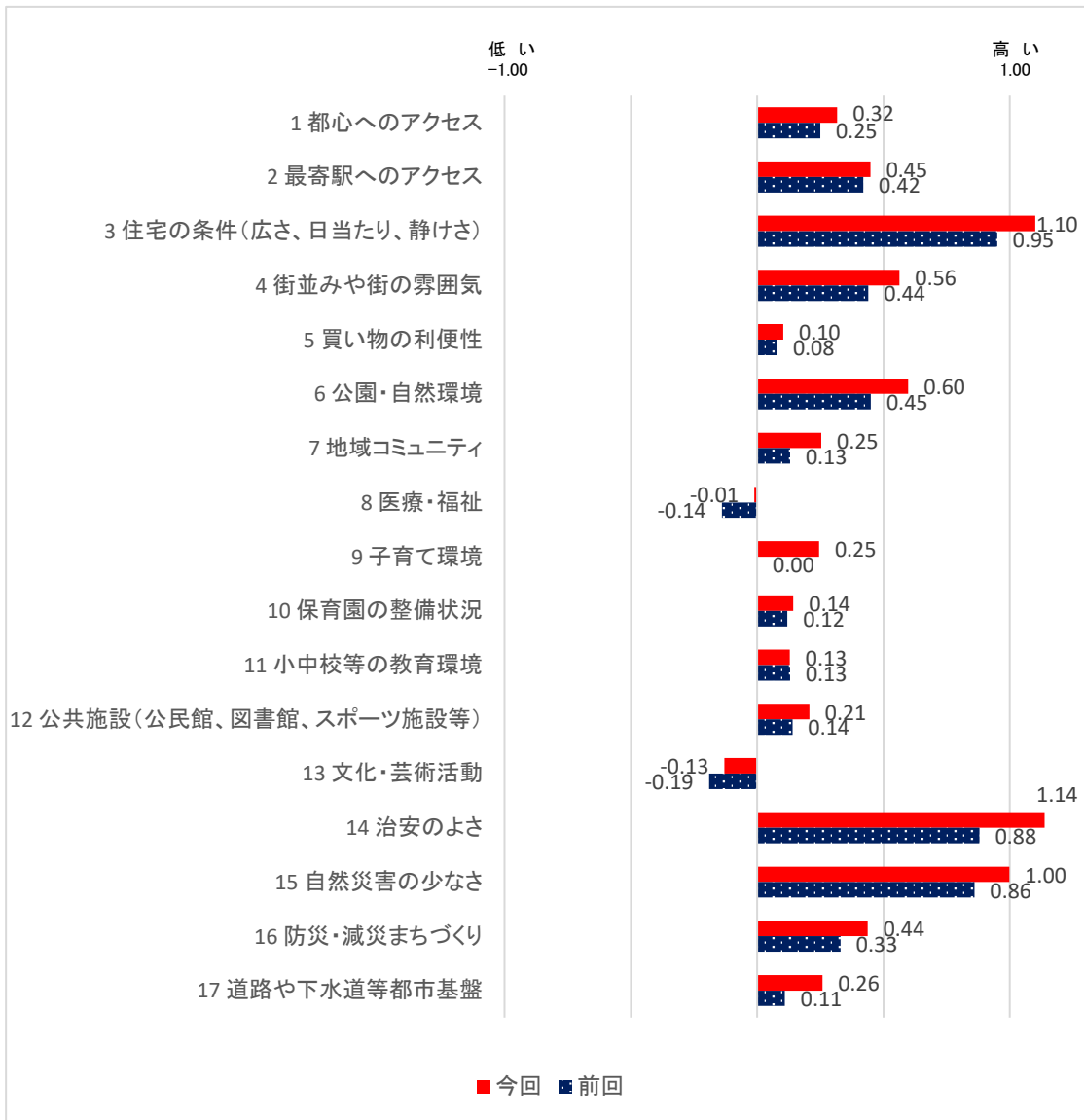
iv 満足度が高く、重要度が低い＝縮小 ※該当なし

(2) 満足度・重要度ランキング

		加重平均値		加重平均値ランキング	
		満足度	重要度	満足度	重要度
1	都心へのアクセス	0.32	0.66	8	15
2	最寄駅へのアクセス	0.45	1.09	6	10
3	住宅の条件（広さ、日当たり、静けさ）	1.10	1.53	2	3
4	街並みや街の雰囲気	0.56	1.19	5	8
5	買い物の利便性	0.10	1.45	15	4
6	公園・自然環境	0.60	1.11	4	9
7	地域コミュニティ	0.25	0.46	10	16
8	医療・福祉	-0.01	1.38	16	6
9	子育て環境	0.25	0.94	11	12
10	保育園の整備状況	0.14	0.69	13	14
11	小中学校等の教育環境	0.13	0.95	14	11
12	公共施設（公民館、図書館、スポーツ施設等）	0.21	0.90	12	13
13	文化・芸術活動	-0.13	0.42	17	17
14	治安のよさ	1.14	1.65	1	1
15	自然災害の少なさ	1.00	1.60	3	2
16	防災・減災まちづくり	0.44	1.44	7	5
17	道路や下水道等都市基盤	0.26	1.33	9	7

① 満足度

- ・ 満足度については、全項目の平均値が0.40となっており、加重平均値が0を下回る項目が2つあるものの、その他の項目が加重平均値の中央にあたる0をやや上回り、全体としては良い評価が得られている。
- ・ 最も満足度が高かったものは「治安のよさ」(1.14)、次いで「住宅の条件（広さ、日当たり、静けさ）」(1.10)、「自然災害の少なさ」(1.00)である。一方、評価が低かったものは、「文化・芸術活動」(-0.13)、次いで「医療・福祉」(-0.01)、「買い物の利便性」(0.10)である。
- ・ 前回調査の項目全般の加重平均値が0.30に対し、今回は0.40であったことから、多少増加しているもののほぼ同水準であると言える。
- ・ 項目別に見ると、最も評価が向上したのは、「治安のよさ」(対前回比：0.26増)であり、対前回比との変化がなかった「小中学校等の教育環境」以外の項目はすべて増加に転じた。

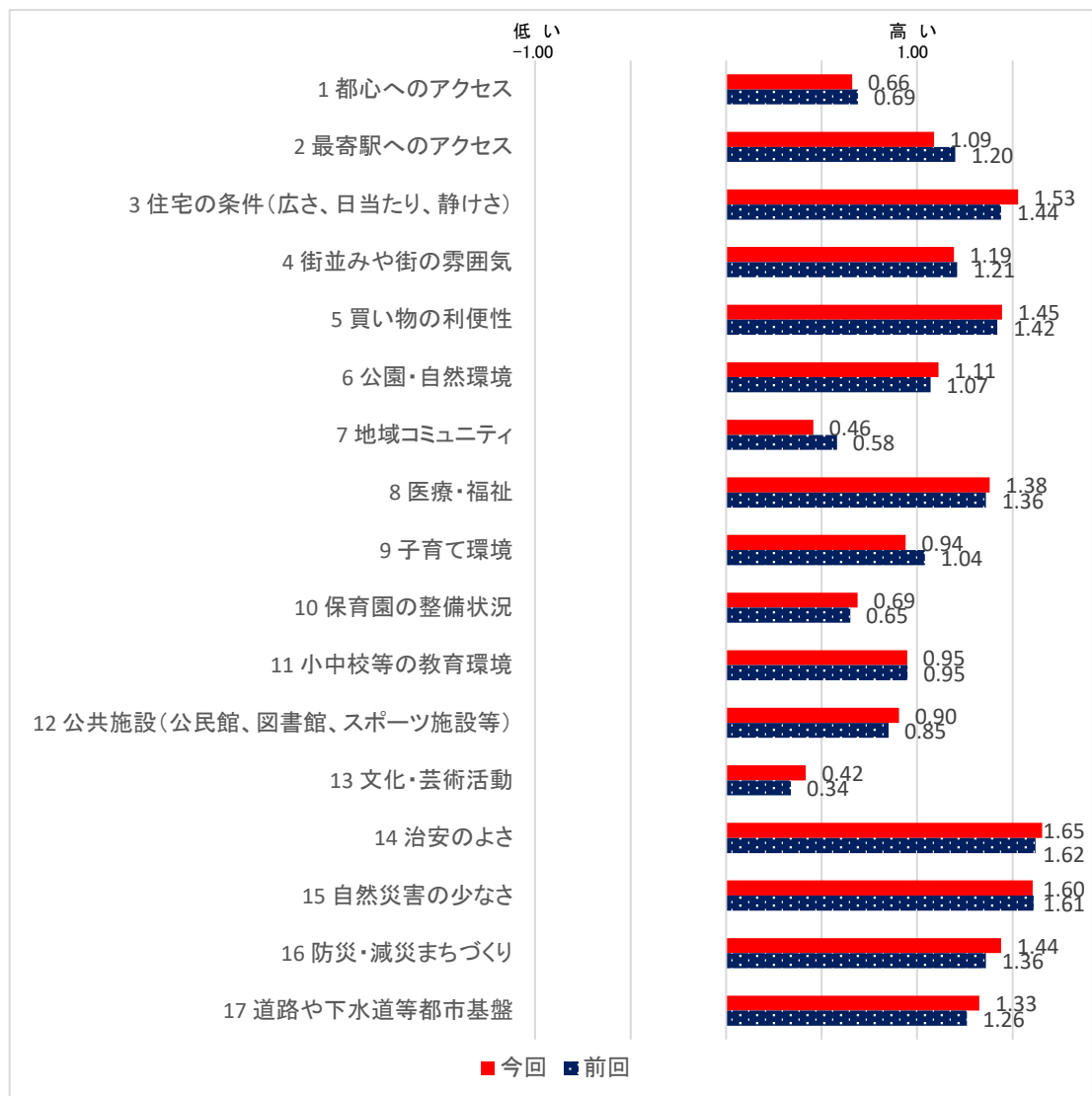


- ・ 年代別に見ると、全項目に対する評価の加重平均値が最も高かったのは10・20代及び60代以上であったのに対し、最も低かったのは50代であったが、その他の年代はほぼ僅差であった。
- ・ 60代以上よりも10代・20代のほうが特に高い評価となった項目は、「住宅の条件（広さ、日当たり、静けさ）」、「街並みや街の雰囲気」及び「治安のよさ」であった。一方、10代・20代よりも60代以上のほうが特に高い評価となったのは「都心へのアクセス」、「文化・芸術活動」及び「自然災害の少なさ」であった。
- ・ 各年代の最も評価の高い項目は、10代・20代、30代、40代は「治安のよさ」、10・20代、50代は「住宅の条件（広さ、日当たり、静けさ）」、60代以上は「自然災害の少なさ」であった。
- ・ 一方、各世代の評価の低い項目においては、10代・20代、30代、60代以上は「文化・芸術活動」、40代、50代は「医療・福祉」であった。

	年代別 満足度の加重平均値					
	10代・20代	30代	40代	50代	60代以上	全体
1 都心へのアクセス	0.21	0.35	0.29	0.29	0.44	0.32
2 最寄駅へのアクセス	0.53	0.61	0.30	0.34	0.47	0.45
3 住宅の条件（広さ、日当たり、静けさ）	1.35	1.08	0.90	1.07	1.17	1.10
4 街並みや街の雰囲気	0.86	0.75	0.52	0.35	0.45	0.56
5 買い物の利便性	0.05	0.24	0.15	0.01	0.11	0.10
6 公園・自然環境	0.61	0.57	0.58	0.50	0.62	0.60
7 地域コミュニティ	0.30	0.22	0.18	0.06	0.42	0.25
8 医療・福祉	0.14	-0.02	-0.11	-0.31	0.24	-0.01
9 子育て環境	0.25	0.27	0.29	0.13	0.22	0.25
10 保育園の整備状況	0.13	0.13	0.24	0.05	0.14	0.14
11 小中校等の教育環境	0.34	0.00	0.05	0.10	0.17	0.13
12 公共施設（公民館、図書館、スポーツ施設等）	0.33	0.13	0.19	0.04	0.33	0.21
13 文化・芸術活動	-0.31	-0.12	-0.10	-0.22	0.03	-0.13
14 治安のよさ	1.35	1.21	1.16	0.96	1.09	1.14
15 自然災害の少なさ	1.00	0.99	0.90	0.82	1.18	1.00
16 防災・減災まちづくり	0.49	0.13	0.50	0.18	0.56	0.44
17 道路や下水道等都市基盤	0.41	0.17	0.28	0.01	0.40	0.26
全項目平均	0.47	0.39	0.37	0.26	0.47	0.40

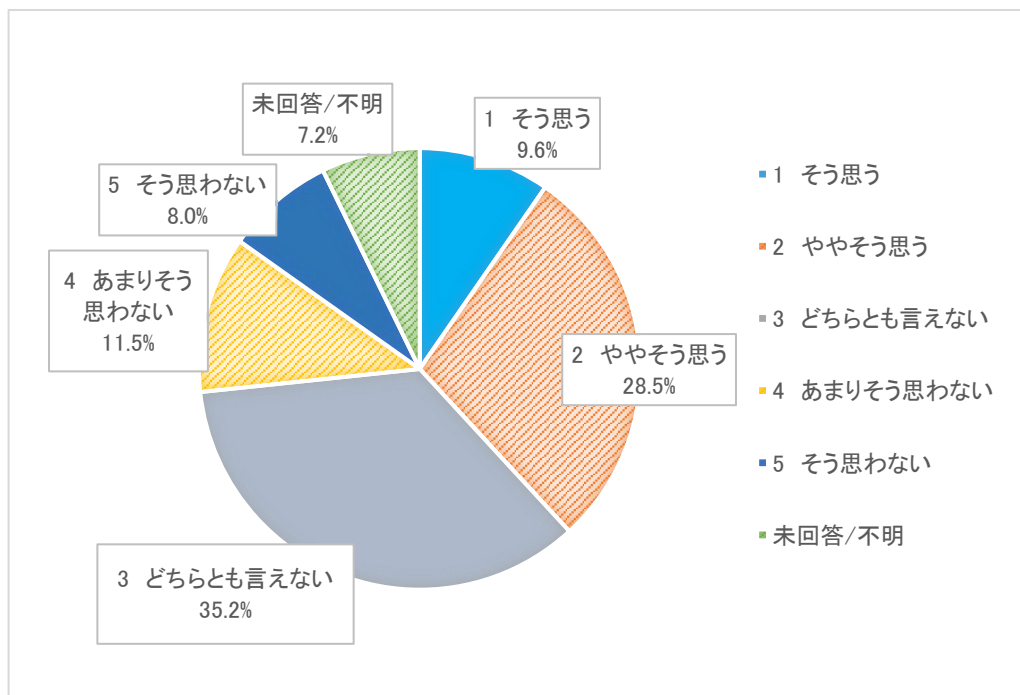
② 重要度

- 重要度については、加重平均値が約6割の項目で1以上となり、全項目の平均値が1.11と、加重平均値の中央にあたる0を大きく上回り、全体としては、どの項目も重要であるとの評価となった。
- 最も重要度が高かったものは、「治安のよさ」(1.65)、次いで「自然災害の少なさ」(1.60)であった。一方、重要度が低かったものは、「文化・芸術活動」(0.42)、次いで「地域コミュニティ」(0.46)、「都心へのアクセス」(0.66)であった。
- 前回調査の項目全般の加重平均値が1.10であったのに対し、今回調査では1.11とほぼ同水準になっている。
- 項目別に見ると、最も評価が向上したものは、「住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)」(対前回比:0.09増)であるのに対し、最も評価が低下したものは、「地域コミュニティ」(対前回比:0.12減)であった。



問7 出産・子育てについて

- 二宮町が、安心して妊娠・出産・子育てできる町であるかという問いに対し、「どちらともいえない」が最も多く、35.2%であった。「そう思う」（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は38.1%である一方、「そう思わない」（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）は19.5%であった。

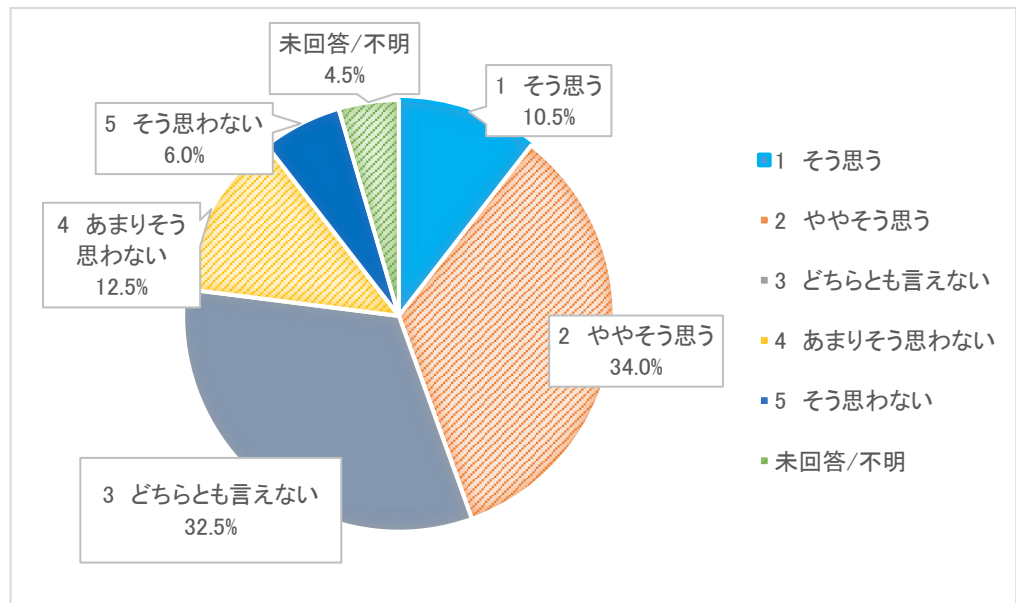


n=540

【参考】 前回結果との比較

回答	今回	前回	増減 (今回-前回)
そう思う	9.6%	11.6%	-2.0ポイント
ややそう思う	28.5%	26.8%	+1.7ポイント
どちらとも言えない	35.2%	31.6%	+3.6ポイント
あまりそう思わない	11.5%	14.3%	-2.8ポイント
そう思わない	8.0%	9.9%	-1.9ポイント
未回答/不明	7.2%	5.8%	+1.4ポイント

- 子育て世代である30代及び40代（合計）では、「そう思う」（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は44.5%、「そう思わない」（「あまりそう思わない」と「そう思わない」と「そう思わない」の合計）は18.5%となった。



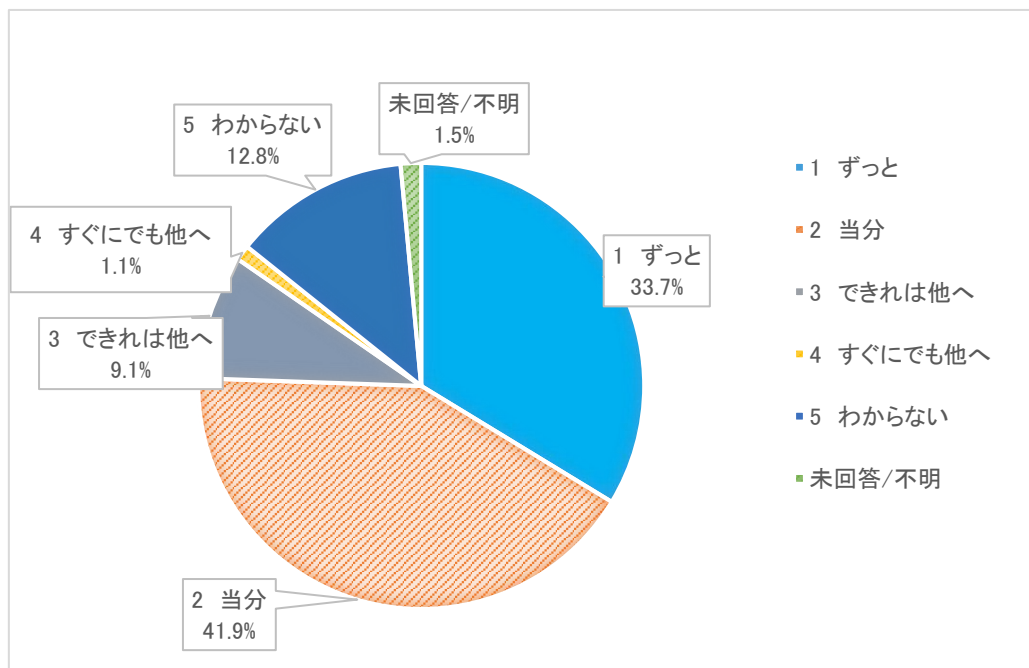
n=95+105=200

【参考】 前回結果との比較

回答	今回	前回	増減 (今回-前回)
そう思う	10.5%	10.3%	+0.2ポイント
ややそう思う	34.0%	30.3%	+3.7ポイント
どちらとも言えない	32.5%	28.3%	+4.2ポイント
あまりそう思わない	12.5%	16.6%	-4.1ポイント
そう思わない	6.0%	14.5%	-8.5ポイント
未回答/不明	4.5%	0.0%	+4.5ポイント

問8 定住意向について

- これからも二宮町に住み続けたいと思うかという問いに対し、「当分住み続けたい」が最も多く、41.9%であった。「ずっと住み続けたい」と「当分住み続けたい」を合算すると、町民の75.6%に定住意向があることが分かる。

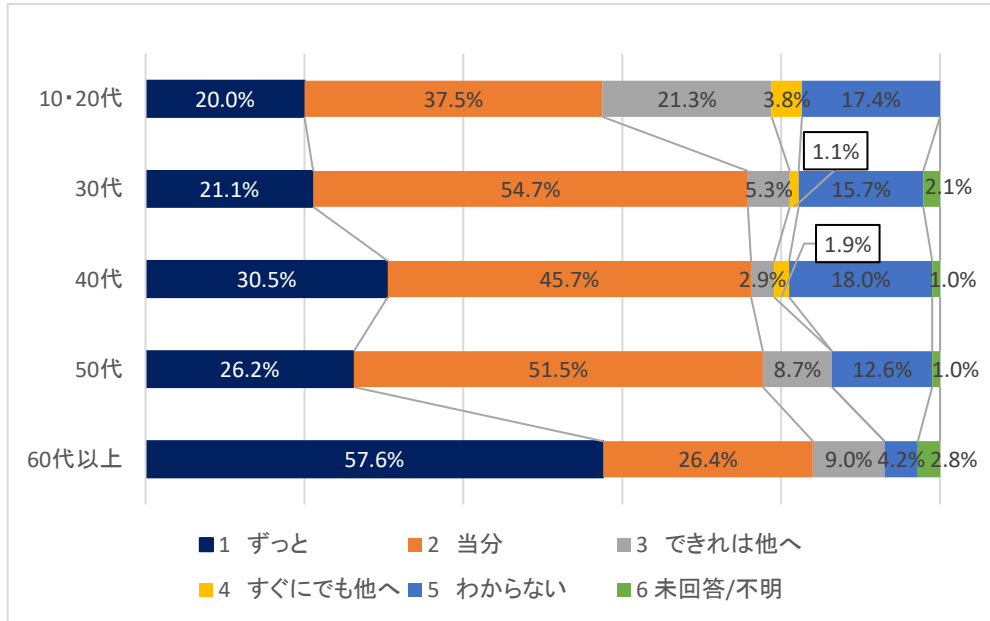


n=540

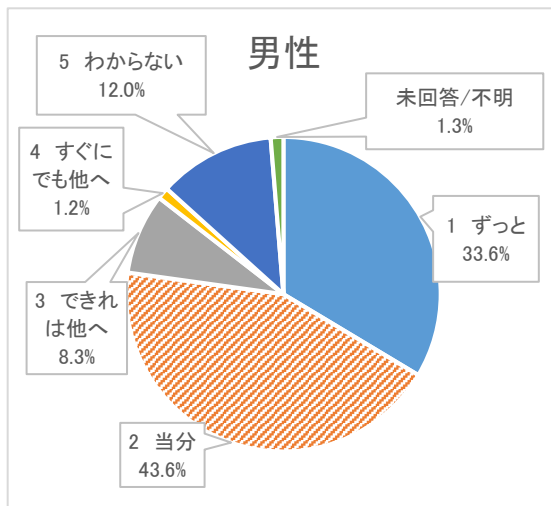
【参考】前回結果との比較

回 答	今回	前回	増減 (今回-前回)
ずっと住み続けたい	33.7%	34.8%	-1.1ポイント
当分住み続けたい	41.9%	43.7%	-1.8ポイント
できれば他へ移りたい	9.1%	8.5%	+0.6ポイント
すぐにでも他へ移りたい	1.1%	1.2%	-0.1ポイント
わからない	12.8%	10.9%	+1.9ポイント
未回答/不明	1.5%	1.0%	+0.5ポイント

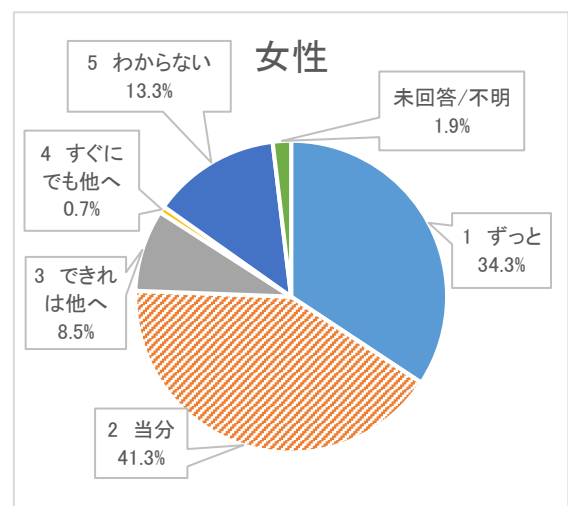
- 年代別に見ると、定住意向（「ずっと住みたい」と「当分住みたい」を合算）がある人の割合は、60代以上が最も高く、同年代の全回答者の84.0%となった。一方、転出意向（「できれば他に移りたい」と「すぐにでも他へ移りたい」を合算）がある人の割合は、10・20代が最も高く同年代の全回答者の25.1%であった。



- 男女いずれも定住意向（「ずっと住みたい」と「当分住みたい」を合算）がある人の割合が7割を超えている。
- 男女別に見ても、定住意向はほぼ同じと言える。



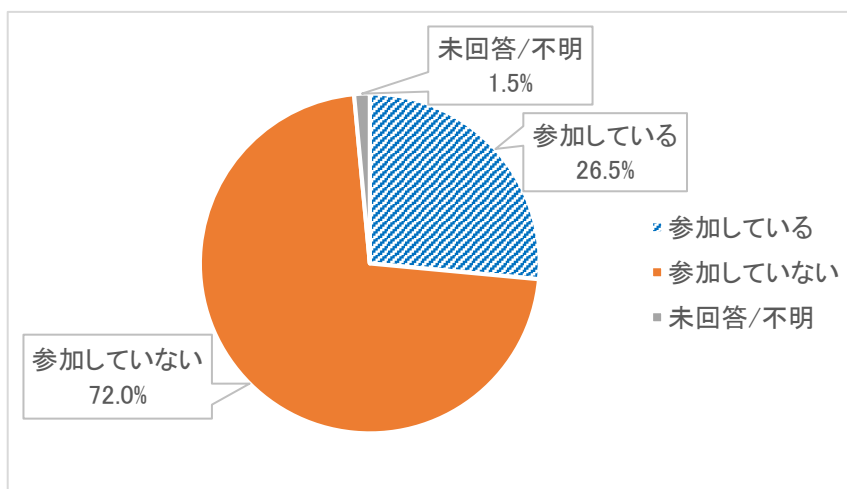
n=241



n=271

問9 地域活動について

- 地域活動について、「参加している」と回答した者が26.5%であったのに対し、「参加していない」と回答した者が72.0%であった。



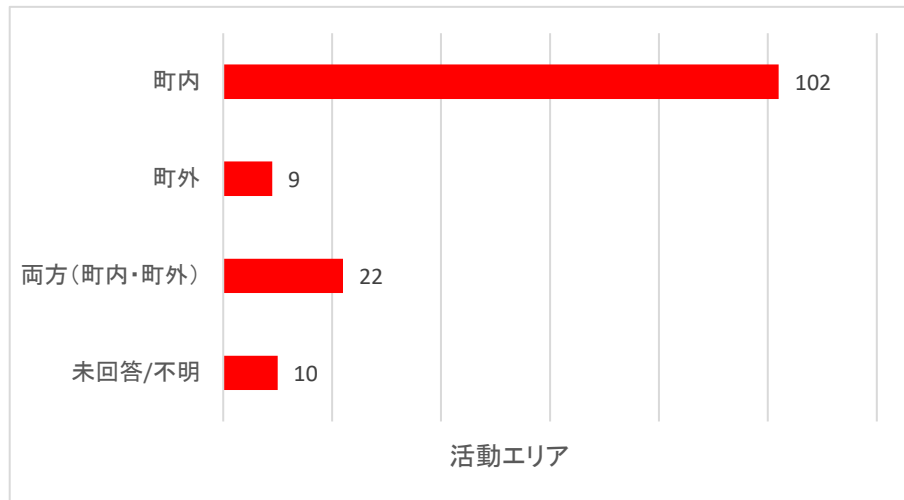
- 年代別に見ると、「参加している」と回答した人の割合が最も高かったのは60代以上で、同年代の全回答者の37.5%を占めた。次いで40代が32.4%で続く。一方、「参加していない」と最も多く回答したのは、10代・20代で92.5%であった。

年代	回答		
	参加している	参加していない	未回答/不明
10代・20代	5 (6.3%)	74 (92.5%)	1 (1.2%)
30代	18 (18.9%)	75 (79.0%)	2 (2.1%)
40代	34 (32.4%)	70 (66.7%)	1 (0.9%)
50代	30 (29.1%)	73 (70.9%)	—
60代以上	54 (37.5%)	87 (60.4%)	3 (2.1%)
未回答/不明	2 (15.4%)	10 (76.9%)	1 (7.7%)
合計	143 (26.5%)	389 (72.0%)	8 (1.5%)

※ 各年代の数値の下にある（ ）内の割合は、年代ごとの全回答者に占める割合

※ 合計の数値の下にある（ ）内の割合は、全回答者に占める割合

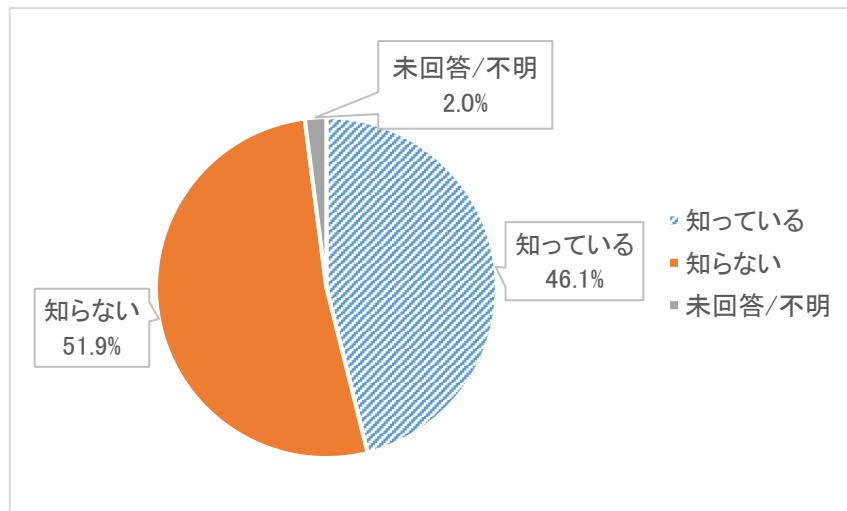
- 活動エリアを見ると、「町内」（「町内」と「両方（町内・町外）」の合計）で活動していると回答した人は124人であった。



n=143

問10 地域の通いの場について

- 地域の通いの場について、「知っている」と回答した者が46.1%であったのに対し、「知らない」と回答した者が51.9%であった。



n=540

- 年代別に見ると、「知っている」と回答した人の割合が最も高かったのは60代以上で、同年代の全回答者の72.2%を占めた。次いで40代が49.5%で続く。一方、「知らない」と最も多く回答したのは、10・20代で83.8%であった。

年代 \ 回答	知っている	知らない	未回答/不明
10代・20代	12 (15.0%)	67 (83.8%)	1 (1.2%)
30代	32 (33.7%)	61 (64.2%)	2 (2.1%)
40代	52 (49.5%)	52 (49.5%)	1 (1.0%)
50代	45 (43.7%)	58 (56.3%)	—
60代以上	104 (72.2%)	34 (23.6%)	6 (4.2%)
未回答/不明	4 (30.8%)	8 (61.5%)	1 (7.7%)
合計	249 (46.1%)	280 (51.9%)	11 (2.0%)

- ※ 各年代の数値の下にある（ ）内の割合は、年代ごとの全回答者に占める割合
- ※ 合計の数値の下にある（ ）内の割合は、全回答者に占める割合